

ふれあいⅡ

学校教育目標
「やさしく かしこく たくましく
自分のよさを生かして
未来を創ろうとするしゃちっ子」
の育成

令和7年12月5日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする

アップデートしよう（未来を創るのは子どもたち）

落ち葉舞う 季節かな…



今まで暖かかっただけに、急な寒波は骨身にこたえるようです。木々も急な変化には追いつかず、まだ紅葉も見られ、学校は落ち葉だらけです。そんな中、昼休みに落ち葉掃除をしてくれている子どもたちがいます。素晴らしいことです。



子どもたちの登校の様子を見ますと、手袋、ネックウォーマーなどの重装備になっています。アウターとしてはコートを着せていただきたいのですが、コートがない場合は、黒色や紺色などダーク系の色味のものを着せていただくようお願いいたします。

全国的にインフルエンザが増えているようで、附属小でも学級閉鎖が出ています。完全に防ぐことはできませんが、手洗い、換気の取組を続けていきます。

響き合う 心を一つに…



27日木曜日に6年生の合唱コンクールがありました。「とどけ105ピースのハーモニー♪」をテーマにどのクラスも美しいハーモニーを届けてくれました。課題曲は「翼をください」、自由曲は1組が「YELL」、2組が「Best Friend」、3組が「手紙～拝啓十五の君へ～」でした。歌声が響くクラス、ハーモニーが溶け合うクラス、曲想が染み入るクラスなど、それぞれのクラスが個性的な合唱で、大賞も甲乙つけがたいコンクールでした。課題曲の大賞は2組でした。おめでとう。

心躍る アフリカンミュージックの世界…



28日金曜日には芸術鑑賞会として、アフリカンミュージックを聴きました。ケニア、マリ、南アフリカの方々による演奏会でした。ジャンベやドウンドゥン、バラフォンなど、見たことのない楽器で速いリズムの曲が演奏されました。アフリカのことも紹介してもらい、裏庭にライオンがいるケニア、日本のように稻作をするマリ、九州と同じぐらいの広さの自然公園がある南アフリカなど、驚く情報が多くあり、歓声が上がっていました。もっと聴きたい、調べたいと思ったことでしょう。

未来の学校を描く 児童会選挙立会演説会…



4日木曜日、児童会選挙立会演説会がありました。来年度に活躍する児童会長を選ぶための演説会です。各クラスから4人ずつ候補者と応援者が出て、3分間、どんな学校にしたいのか、どんな公約を掲げるのかを熱く語りました。楽しい学校にしたいという決意表明が多かったように感じます。自分たちでどんな学校にしたいかを考え、企画・運営していく児童会は素晴らしい組織です。会長に誰が選出されるのか、結果は11日木曜日に出ます。

ほんのちょびっと残念だったのは「愛」という言葉が一人の候補者からしか出なかったことです。「愛でいっぱいの学校」も2年目になりましたので浸透しているから出なかったのか、あるいは私の今年度のプロモーション不足なのか分かりませんが。全校朝会の話にもっと盛り込むようにしようと思いました。